

2017 年度決算の概要 質疑応答

Q

2017 年に株式会社アクトビラを子会社化されましたが、これまでの成果と今後の展開について教えてください。

A

アクトビラ社は、当社が「中期経営計画（2017 年度～2020 年度）」（以下、中期計画）で掲げている重点戦略の 1 つ「サービスのさらなる高度化」における「放送と配信が連動した TV 向けの新サービス開発」を目的に子会社化しました。

昨年度はハイブリッドキャスト^{※1}を活用したテレビ向け「ラグビー4K サイマル配信」および「テニスピックアップコート 2K 生配信」の実証実験などを行ないました。

今後も「放送と配信が連動した TV 向けの新サービス開発」に向けて、TV 向けの「4K サイマル配信」および「ライブ配信」といった新たなサービスの実現を視野に取り組んでいきます。

※1 放送と通信を連携させるサービスで、インターネット経由で豊富な情報を TV 上に提供できることが特徴

Q

現在、動画配信サービスの競争が激化しております。中期計画を策定された時よりも、競争環境は厳しくなっていると感じられますか？

A

動画配信サービス各社がより積極的にコンテンツ強化に取り組んでいると認識しております。

Q

WOWOW ハイビジョン・3 チャンネルの「ネット同時配信」の開始予定を 2018 年度下期中と決められた理由を教えてください。

A

昨今の競争環境を鑑みると、「ネット同時配信」はいち早く開始したいと思っておりますが、コンテンツや設備の準備等があるため、最も早い実現は 2018 年度下期中となる見込みです。

Q

「ネット同時配信」はどのようなプラットフォームで展開する予定ですか？

A

「WOWOW メンbers オンデマンド」での展開を検討しているほか、「アクトビラ」や 4 月からスタートした動画配信サービス「Paravi」での配信も検討しております。

Q

2018 年度収支計画における連結売上高は、中期計画と比べ 17 億円下回ります。その理由を教えてください。

A

中期計画において WOWOW プラス社とアクトビラ社がグループに加わったことに伴うシナジー効果による売上の増加を見込んでいました。しかしながら、2018 年度収支計画においてその進捗が中期計画策定時の想定を下回ったため、中期計画に比べ売上高が減少しました。2019 年度以降、グループシナジーの具現化並びに拡大により、最終的に中期計画を達成させたいと思います。

Q

中期計画の重点戦略において、「WEB 会員^{※2}の拡大」を掲げられましたが、WEB 会員を今後どのように活用していきますか？

A

現在、お客さまのライフスタイルや映像コンテンツの楽しみ方も多様化していると強く感じています。そういった変化に対応するために、デジタルテクノロジーを活用し、お客さまとのコミュニケーションを進化させ、WEB会員の拡大に努めております。それらの会員の皆さまに当社の番組を効率的にアピールすることにより、新規加入につなげていきたいと考えております。

※2 WEB 会員とは、WEB 会員規約に同意頂き ID を保有頂いている顧客のこと。無料で登録可能

以上